

# MERS 診断 15分で

## 横浜市大など 検出器に唾液数滴

中東や韓国で流行し、600人以上の死亡が報告されている中東呼吸器症候群(MERS)のコロナウイルスについて、横浜市立大学などの研究チームは、感染の有無を約15分で判断できる検出器を開発したと発

表した。唾液などを数滴、試験紙に染みこませるだけの簡便さが特徴。2020年の東京五輪開催などで観光客の増加が予想される中、試薬メーカーと協力しながら実用化を目指す。

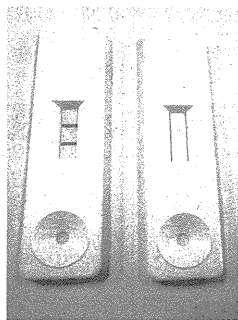
MERS診断で一般的に

行われる遺伝子検出は、結果が出るまで2〜3時間かかるが、この検出器では準備時間を含めても15分程度しかかからない。陽性の場合、5分程度で試験紙に赤い線が2本現れる。手のひらサイズで、持ち運びが容

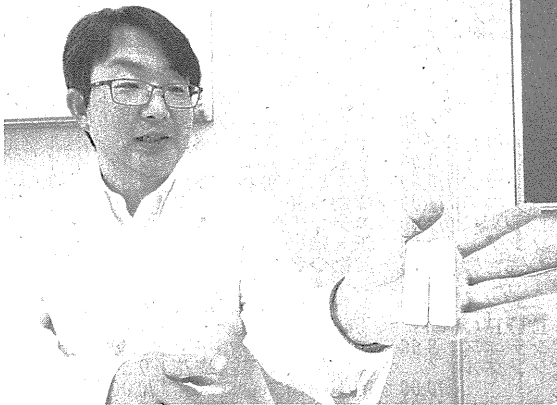
易という利点もある。

MERSは、風邪や重症急性呼吸器症候群(SARS)とウイルスの遺伝子情報に似ていることが検出器開発の壁だったが、研究グループはMERSのみに反応する抗体を発見。国立感染症研究所が提供したウイルスを使い、検出器が反応することを確かめた。

研究チーム統括の梁明秀・横浜市大教授(ウイルス学)は「検出器を空港などで活用してほしい」と話した。



「手」と市大が検査が「手」と市大が検査が「手」と市大が検査が



中東呼吸器症候群(MERS) 2012年に中東で確認された新型感染症で、Middle East Respiratory Syndromeの略。ラクダが感染源とされ、38度以上の高熱やせきなどの症状が表れる。世界保健機関(WHO)によると、今月16日現在で1733人の感染が確認され、そのうち少なくとも628人が死亡。国内での感染報告はない。

## 麻生氏「前回増税延期

### 増税延期

今夏の参院選に自民党推薦で出馬予定の中西健治参院議員(52)(無所属)の決起集会が29日、横浜市内で開かれた。来賓として出席した麻生副総理兼財務相は、消費税率引き上げについて、「先延ばしするなら、